

「もう一度、正しい決断をする！」

～「良い種を蒔く」という決断！～

マタイ2：1～10

7：16～18

ガラテヤ6：7～10

砂漠で生まれ育ったある人が、イギリスに行った時、蛇口があり蛇口をひねると水が出ることに感動し、帰国時に「蛇口が欲しい」と言いました。でも蛇口だけあって大事な水がなければ何も意味がありません。わたしたちも同じように、第一義的な物だけを大事にしてしまい、その中の奥にある大事なものを見失っていませんか？蛇口とつながっている水一神様を見失っていませんか。クリスマスは一年に一回ではなく、本当は毎日がクリスマスだと思わなければいけません。わたしたちのために生まれてきてくれた人がいる、わたしたちのために十字架にかかった人がいる、ということを理解しなければいけません。クリスマスが形式的な行事だけ、蛇口みたいに形だけになっていませんか？また、中に入るか外に行くか忘れて回転ドアで迷っている人のように、人生に迷い、そして教会に来た時だけいい顔でいて何をしに教会に来てるか分からなくなっている人いませんか？

■ Contemplation①～⑦のおさらい…

- ①神は裁判官 ダニエル I心を静める II志と直感 IIIWWJD(What would Jesus do イエス様ならどうする?)
- ②羊飼いの声に I備える II道を整える III影響 IVWWJD?
- ③人生の回復 モーセ I置き忘れ[失敗] II履物 III目的、過去を土台に
- ④神の国とその義 Iイエスは生きている II知恵聞受行 III刺繍の裏
- ⑤十字架の恵み I犠牲にある時 II赦し合う III自分を欺くな
- ⑥死 I自分を手放す[死] II散らす[与える] III平安を得る
- ⑦何者か

今週は Contemplation の卒業後になります。ヘロデ王の時代にイエス様が生まれました。(マタイ2：1～10)ヘロデ王は、ヤコブの息子エサウの子孫です。エサウは一時の食欲を満たす物と引換えに長子家督の権利を手放し弟に奪われてしまい、そこから奪い合いを繰り返す家系になりました。ヘロデ王は、キリストが生まれることを東方の博士から聞いたとき恐れ惑い、生まれたベツレヘム近辺の2歳以下の男の子を皆殺ししました。またエサウのような事件が起こるのではという恐れゆえに、奪う決断を選び、また同じ家系を築いてしまったのです。みなさんもヘロデ王と同じように、間違っただい価値観を次世代に継承していませんか？やめましょう！この劣悪な継承がとても恐ろしいのです。三代四代続く呪いというのは本当はありません。悪い者が「みんなが見てるから恥ずかしいぞ～」などと、わたしたちの決断を「誘惑」してきます。でも決断するのはあなたです。

■ 良い種を蒔く～反対者を愛する

あなたを誹謗中傷するような反対者が現れた時、「そんな奴は排除しろ」という悪い声が聞こえてきます。もう一方で「あなたはヘロデと同じことをするのか？」という声が聞こえます。どちらを選ぶ決断をしますか？悪い種にさらに悪い種を蒔けば良いことにならないことは分かります。自分を愛してくれる人を愛したところで、あなたがたにどんな恵みがあるうか。罪人でも愛してくれる人を愛している。(ルカ6-35)年に一度のクリスマスに、ヘロデから学び、十字架のイエスの生き様を思い、間違っただい決断をしないようにみんなでやりましょう！1985年イランイラク戦争勃発時、48時間以内にイランから日本人200名を助け出さないといけない事

態に日本政府は対応できずにいました。その時トルコが自国民より先に政府専用機で日本人を助け出してくれました。それは、1890年に日本を出航したトルコのエルトゥール号の船員が和歌山沖で遭難した時に日本島民が精一杯助けた出来事を、トルコが教科書や映画で覚えていたからです。良い種を蒔いたから良い実を实らせられたのです。世界が人を変えるのではなく、一人の人が世界を変えます。それが神様が採った方法です。イエス様は天から降りてきて力と権力で人に信じさせるのではなく、闇の深い季節の真っ暗な時に糞土にまみれて、世の中の闇の中に灯される光として生まれてきました。自分を守るために反対者を排除するのは、十字架のイエス様が願ったことでしょうか？他人を蹴落とさまいと努力しているクリスチャンに、権力でや大切な人を傷つける方法で出来事が来るかもしれません。そんな時、神様の前に素直になってください。素直に良い種を蒔く決断が必要です

■ 外的要因に負けるな！！

～我と神、我と汝、我と物～

外的要因に負けないでください。あなたは「我と神、我と汝、我と物」のどこから自らを見極めますか？自分の仕事、持ち物、置かれてる環境、人の目があなたの価値を決めるのではなく、あなたを創った創造主の元に帰った時でしか真の価値を見出すことはできません。見出した人は、外的要因に負けず、他人のせいにしません。でもヘロデは、自分に向き合わず他人と物に目が向き、イエスに間違っただい決断をさせられたとしました。みなさんはお金や立場や人の目といった蛇口ばかり欲しいと言ってませんか？良い木はみな良い実を結ぶが、悪い木は悪い実を結びます。(マタイ7：16～18)「わたしは悪い実を实らせてきましたが、イエス様のもとに帰ります」と、良い木になる決断をしましょう！そして決断したら、途中で止めず、1週間やり続けましょう！聖書にあなたにきなさいと伝え書いているのは、努力ではなく「決断」だけです。

■ クリスマス～正しい種を蒔こう！！

善を行うのに飽いてはいけません。(ガラテヤ6：7～10)12月25日まで良い種を蒔き続けると宣言しましょう。そうすれば一年後に良い刈り取りをすることになります。良い刈り取りをできた人は、また次に種を蒔こうという気になります。良い刈り取りができるまであきらめないでください。タイのテレビ番組でのある女性は、親に捨てられた子や病気の子たちを引き取り育てていました。彼女は子どもと同じ目線で向き合い寄り添い一生懸命子どもと共に生きていました。でも彼女自身が病魔に襲われ、残りの時間を精一杯子どもたちに、大切な自分たちの価値・大切な人生の価値を最後まで伝えようと思いました。

■ 祈り

イエス様が上から目線ではなく手を差し出し、人と向き合い共に生きた生き様に、彼女にも近いものを感じます。イエス様と同じように良い種を蒔きましょう。金銀はないが私にあるものをあげよう、と弟子たちが言ったように、共に寄り添い共に生きましょう。「あなたが愛されたように愛しなさい。」本当の愛・十字架の愛を知っているあなたが、そのことを知らず起き上がれない隣人を励まし価値を与える、良い種を蒔きましょう。「私の目にはあなたは高価で尊い。私はあなたを愛している。」

(要約者：高橋 奈津江)

(12月11日)